

令和5年度 定例会

一般質問（抜粋）

令和6年2月

1. 自然災害の事前の準備（対策）を万全に！

【佐藤幸雄議員】本年、1月には能登半島地震が発災した。お亡くなりになられた皆様に心より哀悼の意を表しますとともに、被災された方々へお見舞いを申し上げます。

毎年、全国、全世界の災害などを見るたびに、いつ災害が発生してもおかしくないことを前提に、仙台市としても日々対策を講じているかと存じますが、特に**事前の準備**は万全なのか。取り組み状況を伺う。

【市長】今般の能登半島地震のような地震災害や、毎年のように全国各地を襲う豪雨災害など、自然災害そのものを避けることはできず、少しでも被害を防ぐため、これまで得てきた知見を総動員しながら、備えを万全にする努力が重要であると認識をしている。

災害はいつでも起こりうるということを常に念頭に置きながら、本市地域防災計画に定める各般の対策を引き続き着実に実施していくとともに、昨年県から示された**第五次地震被害想定調査**結果や能登半島地震での教訓なども踏まえ、計画を適宜見直し、来るべき自然災害に備えてまいる所存である。



令和5年度 第4回定例会
一般質問 質疑 令和6年2月21日

第五次地震被害想定調査について、宮城県では、地形情報や地質情報などの地盤条件ならびに人口、建物の種別やライフラインなどの社会条件をもとに想定地震に対する地震動、津波を予測し、その結果から人的被害、建物被害及び経済被害などを算出し、震災対策などの基礎資料とするため、第五次地震被害想定調査を実施。

<災害の備え ワンポイント情報>



マイ・タイムラインを作ってみよう

マイ・タイムラインとは、大雨・台風による災害に備えた家族一人ひとりの「避難計画」のことです。家族構成や地域の災害リスクなどに合わせて「いつ」「誰が」「何を」するかを時系列で整理することにより、避難のタイミングや必要な行動を家族で確認して備えることができます。

PC・スマホをお持ちの方は、WEBでマイ・タイムラインを作成してみよう！

- STEP 1 ハザードマップで自宅の災害リスクを確認する。
- STEP 2 避難開始のタイミングを確認する。
- STEP 3 避難場所を確認する。
- STEP 4 家族一人ひとりの具体的な避難行動を確認する。

仙台防災ハザードマップより



QRコード

* 中面につづく

S A T O Y U K I O

佐藤 ゆきお

泉区 市議会通信 VOL.35

発行元／ 仙台市議会議員 佐藤 幸雄
仙台市泉区南光台1-56-15-1 TEL 022-272-4863
2024年4月発行 E-mail yukio@sendai-komei.jp

一人の声を市政に
つなぎます



HP QRコード

仙台市令和6年度予算概要

（令和6年4月～令和7年3月）

全体予算規模 合計 1兆2236億円

（令和6年度仙台市当初予算（案）の概要より）

一般会計 6481億円（過去最大規模） ・特別会計 3180億円 ・企業会計 2575億円

令和6年度予算の施策体系（主な重点施策）

柱1「未来の担い手を育み、生き生きと学べる環境の充実」 21億円

子育てが楽しいまち・仙台：不妊検査や不妊治療にかかる先進医療費の助成に要する経費など
子どもの状況や個性に応じた保育・教育環境づくり：児童館の遊戯室や学校の特別教室等への計画的なエアコン設置や、フリースクール等に通う児童・生徒への通学費支援に要する経費など

柱2「都市個性を生かした賑わい・活力の創出とグローバルな魅力の発信」 78億円

まちの持続的成長に向けた挑戦の促進：企業の重層的な支援や、スマート農業等の経費など
世界の防災や環境に貢献する「杜の都」：定禅寺通、泉パークタウン、東部沿岸エリアの一部において、ビルや住宅の脱炭素リノベーション等を推進し、脱炭素先行地域づくりに取り組む経費など

柱3「安全・安心な暮らしを支え、自分らしく輝ける活躍を応援」 18億円

全ての人が自分らしく活躍できる環境づくり：結婚して新生活を始める若い世代を対象とした、家賃や引越し費用等を支援する経費など
安心・安全で健康に暮らせるまちの実現：パーソナルヘルスレコードの利活用などにより、市民の健康づくりを推進する機運の醸成や環境整備を図るなど

*「職員の意識と行政運営の改革」 5億円

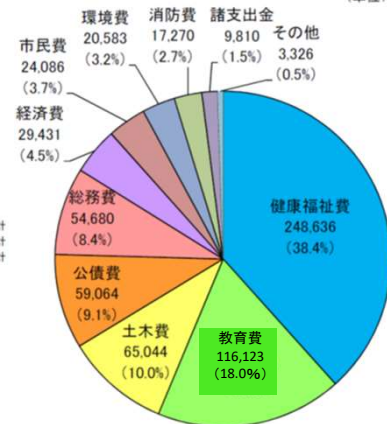
人材育成やDXをはじめとした、事務の適正化や効率化を図るための経費など



R6年度 歳出予算(目的別)の内訳

(R6年度仙台市当初予算(案)の概要より)

(単位:百万円)



2. 経営悪化の公共交通体系を地域交通（乗合タクシー）政策などで移動の足を守れ

【佐藤幸雄議員】減便等を計画している仙台市営バスと宮城交通バスは、今後も厳しい経営環境が続くことが予想される。

そのような中、公共バス事業を守る観点で、更に思い切った地域交通（乗合タクシー）政策が必要と考える。更に公共バスの経営が今後も悪化すれば、現在運行されている**フィーダーバス路線**の維持についても影響を及ぼしかねない。

今後の地域交通政策と、どこまで赤字額が許容できるのか。市長の認識と所見を伺う。

【市長】本市の地域公共交通計画では、主に路線バスを支えていくエリアと地域の実情に応じた移動手段を育んでいくエリアを設定しているところであるが、市内の各地域それぞれにふさわしい交通の確保に向けて、様々な手段を講じていく必要があるものと考えている。

今後とも、地域や交通事業者、行政の連携を図りながら、バス事業の経営効率化にも資する施策や地域交通の導入などにより、**将来にわたって市民の方が安心して移動できる暮らしの実現に向け、取り組んでいる所存である。**

フィーダーバス（英語：Feeder bus）路線とは、交通網において幹線と接続し、支線の役割をもって運行される路線バスまたはその路線をいう。支線バスとも称する。その場合の「幹線」とは鉄道路線または幹線路線バスを指すことが多い。幹線路線バスに対して乗合タクシーを「フィーダー」と位置づける場合もある。

3. 都市計画道路（宮沢根白石線：南光台路線）整備の際は地元地域の安全対策も同時に推進

【佐藤幸雄議員】宮沢根白石線整備（**南光台路線**）について、建設局は令和5年10月に現地調査に関する説明会を開催した。参加者からは、「事業の必要性やスケジュールなどについての質問の他、早期に事業を進めてほしい」という要望もあったと伺っている。

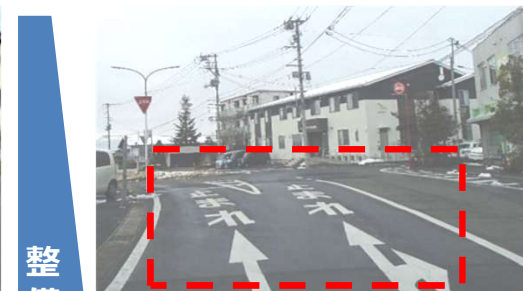
建設局も承知の通り、特に南光台1丁目町内会エリアは、住宅開発から50年近く経過しており、**道路の劣化やインフラの老朽化が深刻**である。都市計画道路の整備にあたっては、接続道路の安全対策に寄与する信号機の設置など安全対策について、この機会に地元町内会などの声を伺いながら、同時並行的に進めることを求めるところであるが、所見を伺う。

【建設局長】南光台工区は、住宅が密集した地区を通過するとともに、整備延長も長いため、接続する既存道路等の安全対策や老朽化への対応も重要であると認識している。

今後、事業の進捗に合わせて、区役所など関係部局とも連携し、**地元町内会などの声を伺いながら、必要な安全対策等について検討を進めていきたい。**

都市計画道路とは、都市の骨格を形成し、都市の健全な発展と機能的な都市活動を確保するため、都市交通における最も基幹的な都市施設として都市計画法に規定した手続きによって定める道路である。都市計画道路は、交通機能に着目して、「自動車専用道路」「幹線街路」「区画街路」「特殊街路」の4種類に区分される。

日々の地域実績



南光台一丁目付近

整備後

変則交差点 路面「止まれ」標示の設置 侵入標識の設置 の安全対策

日々の活動



新春 街頭演説会 1月2日
(公明党 泉総支部 泉セルバ前)



仙台市中央卸売市場 初せり式
1月5日



令和6年 はたちの集い
(カメイアリーナ仙台) 1月6日



仙台・福島・山形市議会広域連携協議会
(福島市) 1月10日



仙台市老人クラブ連合会新春交流会
(バレス平安) 1月11日



仙台商業高等学校同窓会 役員新年会
(ホテル白萩) 1月18日



特別養護老人ホーム 愛泉荘 視察
(仙台市) 1月29日



愛知県庁 会派視察 自動運転事業
(名古屋市) 1月30日



TOPPAN TABD MARUNOUCHI 会派視察
(東京・千代田区) 1月31日